

みつばち保育所が新学期を迎えました！

Vol. 16 2012 年 10 月号

—現地からの声—

2012 年 9 月 3 日 (月) みつばち保育所の新学期がスタートしました。

新学期を迎えるにあたって、Fundipro (フンディプロ：見捨てられた児童のための援助協会) のスタッフは子どもたちのために教室を清掃し、壁などを新しく塗り替えました。また、9 月 6 日 (木) には、教室に通う子どもの家庭に机と椅子をプレゼントしました。母親たちは、これで子どもがもっと快適に学校の宿題ができるようになったと大変喜んでくれました。

8 月に行った図書寄贈キャンペーンは、多くの良い本や教材が集まり、子どもたちが教室で宿題をするために大変役立っています。



新しい机と椅子で学ぶ子どもたち



みつばち保育所に通う子どもの親も机・椅子の運搬作業を手伝いました。

また、保育所内に本の貸し出しコーナーを設置しました。このキャンペーンを通してさまざまな団体との関係ができました。OEI (科学・文化教育に従事するイベロアメリカ諸国協会) がアルファベットのカードを、サンティジャーナ出版社からは小学校低学年用の基礎学力のための教材、ラファエル・オレジャーナ中学校から小学生低学年用の本などを寄贈してくださいました。たくさんの方々のご協力に心より感謝致します。

Fundipro スタッフ クラウディア・ソリート

—Message from El Salvador—



Fundipro のスタッフである私たちが心がけていることは、ただ活動するのではなく、どのようなことも愛を込めて行うことです。しかし愛情といってもそれは感傷的なものではありません。傍にいて人に关心を持ち、相手の幸せを願い、相手をありのままに受け入れることです。そうするためには、いくらかの犠牲と、自分勝手な考え、時には自分が認められたいという願いと闘うことも必要となるでしょう。

自分を正直に見つめるならば、他の人にだけ問題があるのではないことを発見します。自分の身勝手さと闘うことで、私たちは自分の役目を意識し、犠牲を払うことを覚えるでしょう。またこうも言えると思います。人との絆は感情的なもの、または友人から得られる利益を追求するための道具でしょうか。もしそうなら悲しさしか残りません。ですから本物の友情は相手のためだけではなく、自分の人間性の可能性を広げるための贈り物です。

クラウディア・ソリート

Vacanze & Tonalestate 2012

"One Way—献身した人生—"

*今年のポスターの絵はオノレ・ドーミエの『ドン・キホーテとサンチョ・パンサ』、フレーズ「人生の意義を探究しない人生は人生ではない」はプラトンの『ソクラテスの弁明』より引用。

今年もイタリアのパッツ・デル・トナーレ（トレンティーノ＝アルト州ブレシア県）に世界中から中高生や大学生、若い社会人たちが集まり国際ホリデーを過ごしました。その期間中に、世界中の紛争地域で苦しむ人々のため、また文化、政治、教育等を通して人々に献身する方々を招きトナーレスターテ国際平和文化フォーラムが開催されました。

今年のテーマは「ONE WAY-献身した人生-」で、さまざまな分野（政治、科学、文学、教育、経済、紛争など）で活躍するパネリストが集いました。日本からは、今年1月オリーブジャパン文化講演会にお招きした敦賀市議会議員の今大地はるみ女史と原発問題を研究している二人の若者とともに「守るべきは命」という視点から、日本が直面している現状についてお話していただきました。

私がトナーレスターテとヴァカンツェに参加するのは今年で2回目になります。イタリアでの2週間は、日本での騒がしい日常の中で忘れかけていた大切なことを思い出すためのきっかけを与えてくれます。エルサルバドル、ホンジュラス、メキシコなどの、さまざまな国から参加しているThe Others*の学生との交流もその一つです。言葉はうまく通じないことが多いのですが、一緒にいるということ、山登りをしたり、食事をしたり、レクリエーションを通して、相手が私にとって大切な存在であるということに気づかせてくれます。私たちは言葉も文化もまったく違いますが、私たちの間には確かに共通しているものがあります。それは理屈ではなく、実際に経験してみても初めて理解することができるものでした。

私のすぐ隣にいる人を、一人の大切な人間として尊重するということは、今回のトナーレスターテのテーマである「献身した人生」に繋がる場所があると思います。パネリストのジャン・ルイ・トーラン枢機卿は、「献身した人生とは英雄的行動をすることではありません。母親だって英雄になるのです。あなたは幸せですか。他人のために人生をかけられますか。」と言われました。他人のために自分を差し出すということは、とても勇気のいることです。個人主義が進む今の社会環境の中では、幻想に近いものだと思われるかもしれません。しかし、トナーレスターテに参加したパネリストの方々はもちろん、彼らが会議で紹介してくれた賢人も、実際に自らの人生を他者のために捧げようとしたことは事実です。

現在、日本は原発事故によって絶望的な状況にあると思います。しかし、敦賀市議の今大地はるみさんや、京都大学の研究者の小出裕章さんのように自らの人生をかけて、目の前の問題に対して勇敢に立ち向かっている人たちもいます。私もパネリストや彼らのように人間らしい人間として、私たちが直面する現実的な課題と闘っていくことができるようになりたいと思っています。

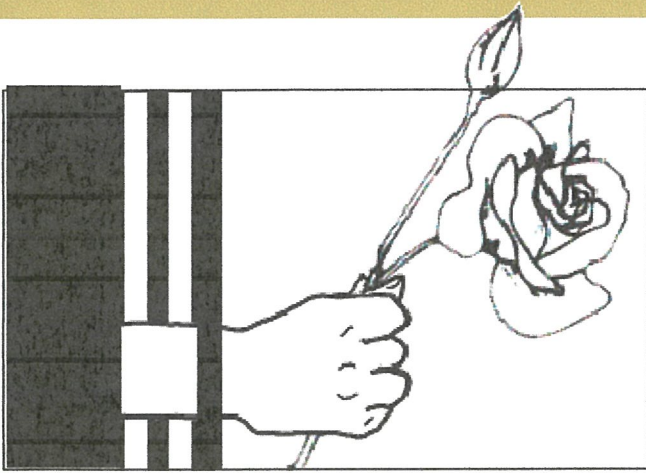
南山大学 総合政策学部 4年 深見祐貴

*The Others は社会問題や身近に起きている出来事に対して、無関心でありたくないという大学生の集まりです。



共に食事し、学び、働くことを通して友情を深める参加者たち

オリーブジャパン活動報告



豊橋刑務所へ本寄贈

今年7月、豊橋刑務所へ250冊近くの本を寄贈しました。愛知少年院に続く2度目の寄贈です。昨年、岐阜刑務所矯正展への出店を機に、教育・文化的な役割として少年院や刑務所に図書室が設置されていること、しかし、「予算不足」という理由から質の良い本が十分に揃っておらず、その役割を十分に果たされていない現状を知りました。本寄贈プロジェクトに参加したスタッフのレポートです。

「良い本・言葉との出会いは人生を豊かにする」をテーマに、本寄贈プロジェクトを始めました。まず、職場や友人へ本集めの呼びかけです。次に、刑務所からの注意に沿って、個人情報の漏えい防止のため余分な書き込みやメモがないか、一冊一冊確認しました。手に取ってくれる方に喜んでもらえるよう古すぎるものは除き、精選した本のタイトルリストを作成しました。最後に、丁寧に箱詰めと包装をして完成です。

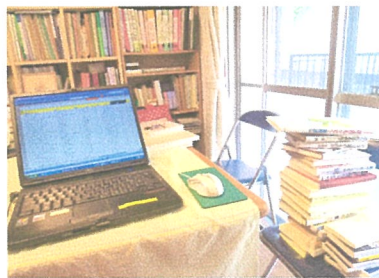
呼びかけを通して、人それぞれの本にまつわる思い出やおすすめの一冊などが話題にあがり、お互いに新たな一面を知るきっかけとなりました。そして、活動の趣旨に共感し譲ってくれた方々の協力の元、良質な本が沢山集まり始めました。週末はオリーブスタッフや友人も整頓作業に集まり、ただの機械的な作業だけではなく、本を寄付してくださった方、そして受け取る私たちも同じ目的に向かい一体となって働く喜びを実感しました。

普段、図書館や本屋、インターネットを通じ好きな本を自由に手に入れることができる便利な生活を送る私たちにとって、少年院や刑務所のように極端に制限された生活に関心をもつことはほとんどありませんでした。しかしこの経験を通して、これから本を手取る方たちの立場に立ち本を選んだり、必要としているものを知ることができました。例えば若者が出所後就業する場合、職業の選択肢は非常に狭まれているそうです。その理由として社会的な受け入れ状況の厳しさもありますが、それ以上に職業の選択肢を知らない若者が多いことも背景にある、と職員の方が

話してくださいました。刑務所には高校大学のように充実した進路指導や就活ガイダンスはありません。そこで、資格取得のための参考書や、仕事に関する本集めを強化しました。今後も文学・哲学・芸術などの意味深い本と実用書を集め続けます。お譲りいただける本をお持ちの方は是非ご連絡ください。お待ちしております。

オリーブスタッフ 吉田有希

赤い書籍はいつそう赤く咲くばかりであり、
白い書籍もいつそう白く咲くであろう。
レディング率の現れスカーワイルド



杜の家バザー9月15日(土)

杜の家バザーで印象的だったのは、誰かのための贈り物として購入して下さった方が多くいらしたことです。今回はアクセサリ中心のバザーだったので、女性のお客が多いかと思いきや、男性の方も足を運んでくださいました。小さな男の子が、お母さんへの誕生日プレゼントとして一生懸命に指輪を選んでいる光景はとてもほほえましく感じました。ただモノを販売するだけではなく、贈られる人の笑顔を想像したり、購入して下さったお客様が喜んでくださっている姿を実感することのできた心温まる良い時間でした。

オリーブスタッフ 尾関友惟



■品物の寄付をお待ちしています■

チャリティーバザーで販売する為の品物を集めています。

ご家庭にある、衣類や靴、アクセサリ、バッグ、日用品などをご提供くださる方は下記の連絡先へご連絡ください。

バザーの収益金は、エルサルバドル“みつばち保育所”の運営資金に使われます。



■各文化講座のお知らせ■

※各文化講座は事前のお申込みが必要です。下記弊社連絡先までその旨ご連絡ください。

●南イタリア料理講座●

(毎月1回開催)

場所：ウィルあいち

(地下鉄名城線 市役所駅下車)

次回開催日時：12月 2日(日)

参加費：6,000円/1回



●絵画講座●

(毎月2回開催)

場所：本山人協会館

(地下鉄東山線 本山駅下車)

次回開催日時：11月17日(土)

参加費：2,000円/1回



水彩/生徒作品

*お問い合わせは、下記連絡先まで
 オリーブ・プレス Vol.16 2012年10月発行
 オリーブジャパン国際開発協力協会
 olivejapan80@hotmail.com